



## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
小林 常治

**自らチャンスを創り自ら成長し続ける  
一人ひとりが常にお客様の喜びと感動を生み続け、誰もが幸せになれる会社を目指す**

私たちは通信インフラの構築・検証を軸に、常に「運用目線」と「現場力」を磨き続けてきました。インターネットが社会基盤となった今、通信業界で培った当社の知見は、あらゆる産業のDXにおいて不可欠なものとなっています。売上100億円への挑戦は、単なる数字の拡大ではありません。蓄積したノウハウを高度なソリューションへと昇華させ、社会に更なる驚きと感動を提供し続けるための「進化」のプロセスです。私たちに関わる全てのステークホルダーの皆様の幸せを追求し、社会に必要不可欠な存在として、全社員一丸となって次の高みへ飛翔したいと考えています。



次世代ソリューション事業の核「Provar」

- 本社所在地：東京都立川市
- 事業概要：通信・ITインフラの設計構築、ソフト開発・品質保証
- 常時使用する従業員：140名  
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：18億円  
(2025年8月期)
- 法人番号：6012801000080
- Web：https://adoc.co.jp/

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2030年の売上高100億円達成に向け、年率40%の成長を目指す。通信業界で培った強みを「IoT」「DX・AI」「情報処理基盤」の3領域へ展開し、自社ソリューション事業の売上構成比を40%程度まで引き上げることで、エンジニアリング事業を超える収益基盤を確立する。

### 課題

**労働集約から知識集約への転換：**属人化を排し、誰でも高単価・高品質を実現できる「標準化されたAIソリューション」を確立すること。  
**社会課題解決型プロダクトの創出：**自治体インフラ維持や中小企業DX等の切実な課題を、独自のIoT・AIパッケージで解決する事業を加速。  
**生産性と収益構造の劇的改善：**「Provar」で培ったAI技術を全事業の基盤とし、自動化の徹底によりエンジニアリングの枠を超えた収益性を実現すること。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

**AI自動化基盤の高度化投資：**「Provar」を核としたAIテストエンジニアリング技術の強化と、全産業への展開に向けた検証用システム・設備環境の構築。  
**社会課題解決型IoTの全国展開：**自治体インフラ維持を支える「特化型IoT」の量産体制整備と、データ解析拠点の拡充による収益モデルの確立。  
**知識集約型DX基盤の構築：**経験や知見を活かす独自のデジタルソリューションの開発と、DX人材育成のための教育環境への投資。

### 実施体制

**経営直轄体制：**代表取締役および担当執行役員を中心とした「成長戦略推進チーム」により、迅速な経営判断と投資管理を徹底。  
**全部門連携：**全部門長の参画により現場の知見を戦略に反映し、PDCAサイクルを高速で回す体制を構築済み。  
**外部連携：**支援機関と連携し、進捗と賃上げ要件の達成を客観的かつ確実に管理。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです